

山口労働局 勤務2、3年目職員 インタビュー



- ・ Q 1 山口労働局を志望した動機は？
 - ・ Q 2 労働局の中で今のキャリアパスを選んだ理由は？
 - ・ Q 3 入省して最初の配属先での業務を教えてください。
 - ・ Q 4 どんなときに仕事にやりがいを感じますか？
 - ・ Q 5 仕事で印象に残っていることはありますか？
 - ・ Q 6 仕事をする上でどんなことを心掛けていますか？
 - ・ Q 7 入省前のイメージと違っていたことはありますか？
 - ・ Q 8 プライベートの時間は確保できますか？
 - ・ Q 9 山口労働局で働くことを考えている人にメッセージをお願いします。
- 

Q 1 山口労働局を 志望した理由は？

【基準系事務官】

- ・労働行政に関わりたと思ったため。県外への異動がないことも魅力的でした。(※)
- ・労働法のゼミに所属していたことから労働局の仕事に興味がありました。
- ・地元である山口県で働きたかったため、山口労働局の説明会に参加したところ、先輩職員の方々の対応が温かく職場の雰囲気が魅力的であったため志望しました。

【労働基準監督官】

- ・働くということは、生きる上で身近なことでもあり必要不可欠なことであると思ったので、働く人の労働環境を守る立場に立ちたいと思ったからです。
- ・山口労働局の説明会で職員と話す機会があり、職員の皆さんが親しみやすく、また仕事にやりがいを持っている方が多いと思ったからです。

【共通採用事務官】

- ・就職活動を始めるタイミングで、母がハローワークを経由して再就職をしました。活き活きと新しい職場での話をする母の姿を見て、生活の上で「働く」ということの大切さを改めて実感しました。併せて、自分自身の就職活動を行うにあたって「働く」ことの難しさも体感しました。

そんな私たちの生活の上で
切っても切り離せない「働く」
ことについて興味をもち、
また労働行政に携わりたいと
考えたのがきっかけです。



(※)基準系事務官・共通採用事務官は原則、県内異動です。監督官は県外異動があります。

Q2 山口労働局の中で今のキャリアパス※を選んだ理由は？

※（監督官・共通採用事務官・基準系事務官）

<監督官>

- ・労働基準法や最低賃金法など、労働関係法令に専門的になれる研修制度があるのが魅力的でした。
- ・アクティブな仕事をしたいとて監督官を選びました。
- ・監督業務を行う際に様々な事業場に足を運び、人との交流も幅広いと思ったからです。

<基準系事務官>

- ・労災部署の業務内容について説明を受けた際、先輩職員の方々が仕事にとってもやりがいを感じていて、この仕事が好きだ、という話をされた姿が印象的であったことや、地道に調査を積み重ねていくことができる人が向いている仕事である、という話を聞いたことから、基準系事務官の仕事をしてみたいという気持ちが高まり、選択しました。

<共通採用事務官>

- ・ハローワークヘイターンシップに伺った際、職場の雰囲気がとてもよかったことと、求職者に寄り添い支える職業紹介業務に魅力を感じたことから共通採用事務官を選びました。

★「共通採用事務官」と「基準系事務官」について詳しく知りたい方は、山口労働局HPに掲載している職員採用情報のページから『厚生労働事務官の業務内容』をご確認ください。

Q3. 入省して最初の配属先での業務を教えてください。

<監督官>

- ・（Aさん）署内の仕事では労働者や会社の方からの相談に答えたり、届け出の受付をしたりします。外の仕事では、会社に入り込んで労務管理の書類を見たり、安全関係の機械等を見たりして、法令が守られているか調査をしています。
- ・（Bさん）36協定について研修を受け、36協定を受理する業務を行いました。
- ・（Cさん）労働相談など窓口での受付業務です。

<基準系事務官>

- ・（Cさん）労災課に配属され、労災の請求書の審査や、労働保険の加入の手続きなどに関する窓口・電話対応などを行っていました。

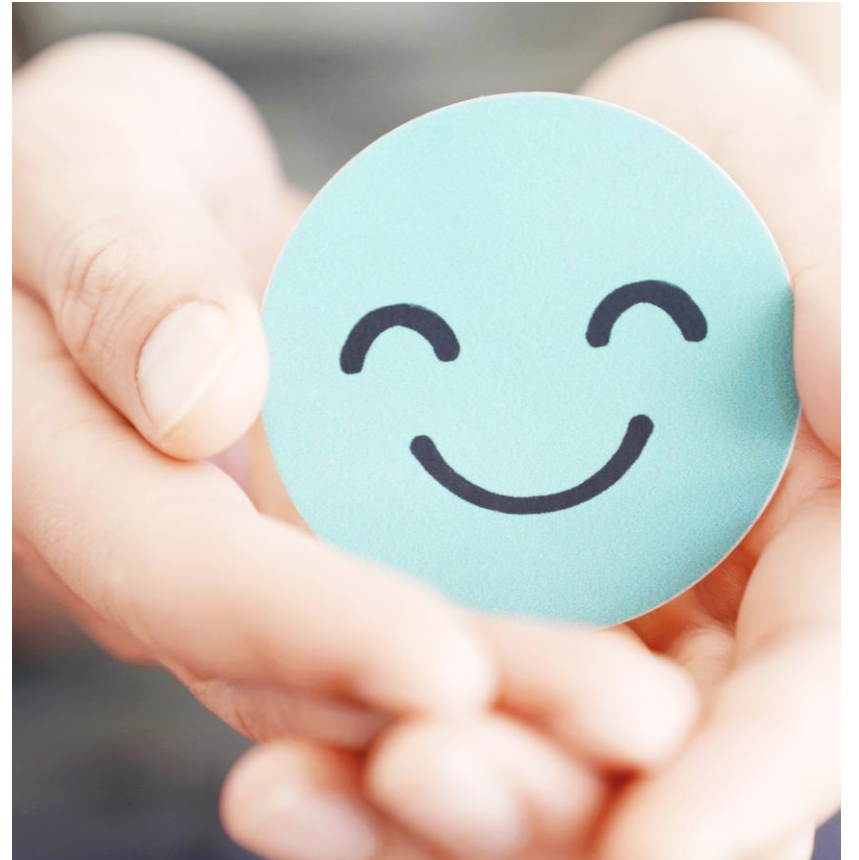
<共通採用事務官>

- ・（Dさん）主に、退職後次の就職先を探す方向けに、失業給付の支給を行う業務に携わっています。基本的には窓口で、各種手当の申請受理や支払い手続きのそり、制度についての説明や相談対応を行っています。



Q4 どんなときに仕事にやりがいを感じますか？

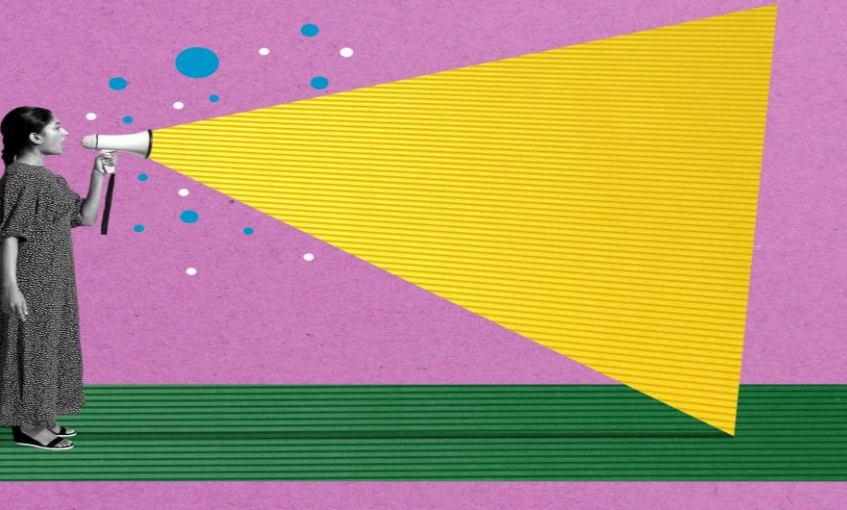
- ・ 自分にとって難解な事案を解決できたときにやりがいを感じます
- ・ 製造業等の監督業務を行う際に、通常見ることができないようなものづくりの過程を見ることができ、監督官の仕事が特別であるように感じます。また、労働相談後に相談者から「相談してよかった」と言ってもらえるときにはやりがいを感じます。
- ・ 調査に時間がかかる事案や判断が難しい事案等の審査が全て完了したときにやりがいを感じます。
- ・ 来庁者の方から感謝のお言葉をいただいたときです。失業して今後の生活に不安を感じている方も多く、そういった方のお話を聴いて悩みを解消できたときは、この仕事に就いてよかったと感じます。



Q5 仕事で印象に残っていることはありますか？

- ・ 作成途中のトンネル内部に入構したことです。普段の生活で、掘っている最中のトンネルを見られる機会はほとんどないと思います。様々な会社や現場を訪れる監督官ならではの経験だったと印象に残っています。
- ・ 労災課に配属されてから初めて難しい事案を担当したとき、1件の事案を調査するのに様々な段階を踏まなければならないことや、沢山のことを聴取しないといけないことなどに驚きました。その事案の調査にはとても時間がかかり、なかなか上司からのOKも出なかった中、審査が全て完了して結論が出たときはとても達成感がありました。
- ・ 失業給付の手続きについて相談対応をしたときのことが印象に残っています。
「すごく心が軽くなりました。本当にありがとうございます」と笑顔でお礼をおっしゃっていただいたことが、今でも大切な思い出です。





Q6 仕事をする上で どんなことを心掛けていますか？

- ・ 分からなかったら上司に聞いて一人で抱え込まない。
- ・ 自信を持って話すということです。監督官の業務内容の1つに窓口業務があり、使用者や労働者へ法律や制度の説明をすることがあります。その際に、間違ったことを説明したらどうしようという不安な気持ちで説明しては、相談者も不安になってしまいます。わからないことについては、自分で勉強し、自身を持って説明できるようにしています。
- ・ 優先順位を決めながら仕事をすることや、根拠となる法律などの知識を身に付けることを心掛けています。
- ・ 外部の方とやりとりを行う際は、監督署に対して何を望んでいるのか、行政に求める具体的な対応を明らかにすることを心掛けています。監督署で対応できること、できないことの線引きを明確にして、丁寧に説明するようにしています。
- ・ とにかく、受け手に分かりやすい説明を行うことを心がけています。複雑な制度である一方、手続き内容についてしっかりと把握していただく必要があるため、専門用語を簡潔な言葉に言い換えたり、文章の区切りや説明の順番を意識したりと、日々試行錯誤しています。

Q7 入省前のイメージと違っていたことはありませんか？

- ・ 思っていたよりも研修制度がしっかりしていたことです。労働基準監督官については、1年間かけてカリキュラムが組まれ、埼玉県での長期研修や労働局での短期研修、署での研修など様々な研修を行っていただきました。このようなカリキュラムがあるため、全く労働基準関係法令を知らない方でも、労働基準監督官として働けるようになると思います。
- ・ 私は法学部を卒業して入省しましたが入ってみて感じたことは、思ったより、法律のことよりも理系の知識（化学物質・建設現場や機械のこと等）を使うこと多いと感じました。また、なんとなく堅苦しいイメージがありましたが、気さくな上司の方が多いので毎日楽しく仕事をしています。
- ・ 想像していたよりも女性の監督官が多いことです。同期にも多数の女性監督官がいるため心強いです。
- ・ 休みが取りやすいことです。社会人になると、どうしても自分の希望通りに休みを取ることは難しそうなイメージがありましたが、仕事の計画を自分で調整しやすい業務であるため、希望した日に休みを取ることができています。
- ・ 個人的には入省前後でイメージに違いはなかったと感じます。

Q8 プライベートの時間は確保できますか？

- ・ 月に1回以上、年休を取得することができるので、旅行にたくさん行けます。今年は、東京、北海道、滋賀、韓国、熊本に行けました。9月には台湾に行く予定も立てています。
- ・ 確保しやすいと思います。基本的には残業がない職場で、直近4か月では合計して2時間ほどしか残業をしていません。そのため、平日でも仕事が終わった後の予定が立てやすく、仕事後に飲みに行ったり、平日割が行われている美容院へ行ったりできています。
- ・ 休暇が取りやすく、土日祝日は休日であるため、プライベートの時間も確保できます。
- ・ 残業も比較的少ない方だと感じており、プライベートの時間は十分に確保できています。
- ・ 私の所属する部署では繁忙期を除いて残業はほとんどなく、年次有給休暇も最低月一回は取得できているため、プライベートの時間は十分に確保できていると思います。



Q9 山口労働局で働くことを考えている人にメッセージをお願いします！

- 様々な進路に迷うこともあるかもしれませんが、数年、数十年働く場所です。後悔しないように多くの会社説明会に参加するなどして、納得がいく進路を見つけてください。その上で山口労働局を選んでいただければ嬉しいです。
- 監督官は全国に同期がいる公務員で、珍しいと思います。ぜひ一緒に働きましょう！
- 山口労働局では、業務に関する研修が充実しており、上司や先輩に相談しやすい職場環境ですので、日々働きながら学ぶことができます。そこで得た知識は、山口県内で働く労働者や使用者の方はもちろん、きっと自分の身の周りの人の役にも立つと思います。労働行政に興味がある方は、是非前向きに検討していただけたらと思います。
- 山口労働局は、職場の雰囲気がとても温かく、仕事とプライベートの両立もしやすいため、とても働きやすい職場だと感じています。また、尊敬する上司の下でやりがいをもって働くことができるため、充実した日々を過ごせると感じています。就職活動は大変かと思いますが、ぜひ一緒に働きましょう、頑張ってください。
- 山口労働局は各種研修制度や手当が充実しているほか、朗らかな職員の方が多いため仕事に関する相談や質問もしやすい等、とても働きやすい職場であると感じます。少しでも興味をお持ちであれば、是非、就職先の候補の一つとしてお考えいただけると嬉しいです。